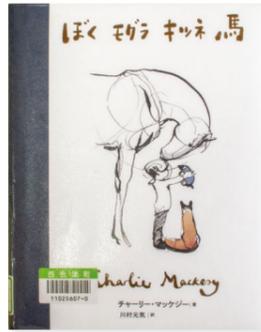


西中図書館 新刊オススメ本



『ぼく モグラ キツネ 馬』
[チャーリー・マッケジー 著]
[川村元気 訳]
飛鳥新社

少年とモグラ、キツネ、馬の冒険と心の交流を美しいイラストとともに描いたアート

絵本 "THE BOY, THE MOLE, THE FOX AND THE HORSE" の日本語版です。

「じぶんにやさしくすることが、いちばんのやさしさなんだ。やさしくされるのをまつんじゃなくて、じぶんにやさしくなればいいのさ。」

子どもから大人まで全ての人に寄り添う、シンプルで深いメッセージ性のある言葉と、幻想的で美しいイラストが心に染みる絵本です。



『完全版「いつものパン」があなたを殺す』
[デイビッド・パールマター、クリスティン・ロバーク 著]
[白澤卓二 訳]
三笠書房

『カジュアルに楽しむ手のひら盆栽』
[ピリ 著]
ブティック社



『スモールワールズ』
[一穂ミチ 著]
講談社



『なぜ秀吉は』
[門井慶喜 著]
毎日新聞出版

町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

町公民館では、地域文化を再生し、和紙の新たな可能性の発見を目的とした「出ヶ原和紙作り講座」を昨年度から開催しています。前月号に続き、本講座に参加した皆さんが自分で漉いた出ヶ原和紙を使って作成した作品を紹介します。

今日は、伊藤由美子さん（出ヶ原）の作品です。

作品によせて…

この作品に使用した和紙は、紙料液に「変わり糸」を混ぜてみました。どんな仕上がりになるのか、ドキドキしながら漉きました。

この和紙と約200年前の和紙を、先人たちの生活具「行灯」（昭和20年代に実際に使用していた物）に貼った作品です。

和紙を通して広がる優しい光に思いを馳せています…。



みんなで楽しく！はつらつスポーツ講座が開講

令和3年度高齢者教室「はつらつスポーツ講座」の開講式と第1回学習会を、6月17日に開催しました。

本年度の「はつらつスポーツ講座」は、健康と仲間づくりを目的として6月から3月まで全15回行います。内容はグラウンドゴルフやカローリングのほか、パラリンピックの正式種目にもなっているボッチャを新たに設けました。

第1回学習会では、グラウンドゴルフをさゆり公園多目的広場で行いました。参加者が60人を超えたため、密を避けるために通常の8ホールを16ホールに増やして設置し、8月に開催予定の町民グラウンドゴルフ大会の基準に則り、1組4名以内で実施しました。

参加者は打数の少なさを競い、お互いのプレーに「良いところにいった」「惜しい」などと声を掛け合いながらゲームに熱中し、好プレーが飛び出すと歓声が上がっていました。



西会津町の六宿場を学ぶ 成人講座で歴史と自然の学習会を開催

公民館では、本年度から女性に限定していた女性講座を改め、男性の皆さんも参加できる「成人講座」を開催し、学習機会の拡大を図りました。

第1回は「西会津町の六宿場の謎」と題して、野沢・上野尻・下野尻・白坂・宝川・軽沢地区の歴史と自然についての学習会を開催しました。

まず6月24日、町文化財保護審議会副会長の田崎敬修さんを講師に公民館で開講式と現地研修前の学習会を行いました。各宿場の特徴や野沢宿と野尻宿の違い、「なぜ宿場がそこにできたのか？」などの謎に迫りながら、歴史について学びました。

続いて7月1日には、「野沢宿歴史探訪マップ」を参考にしながら、実際に野沢地区を歩いて宿場町の痕跡などを見学し、田崎さんから説明を受けていました。



6月24日の学習会



7月1日の現地研修

また、自然についての学習は、もりの案内人の齋藤和則さんからハルジオンとヒメジョンの見分け方、ネムノキ、オニグルミの花やイタドリ、クズなどの植物について話がありました。下野尻地区での学習では、「蟹沢」という地名の由来は、サワガニがたくさんいることからその名前が付き、今もサワガニがいるとの説明もありました。



▲ もりの案内人による自然についての学習